

令和7年9月25日
環境局

「日傘利用に関する8,353 都民アンケート調査」ご報告
「日傘男子」の4割が今年日傘デビュー
日傘は「日焼け防止」から「暑さ対策」へ
歴代最多の猛暑日を記録した今夏は都民の約7割が日傘を利用

今夏、東京では歴代最多の猛暑日を記録するなど厳しい暑さが続き、多くの方に暑さ対策として日傘の利用が広がりました。都でも暑さ対策として呼びかけを実施してきました。
今回、東京都では、東京アプリを活用して、東京都在住、在勤、在学の方を対象とした「日傘利用に関する都民アンケート」を実施しました。その結果、今年の夏から大きく日傘利用が広がったことが分かりました。

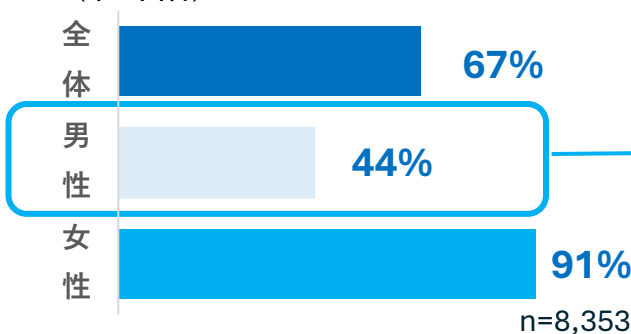
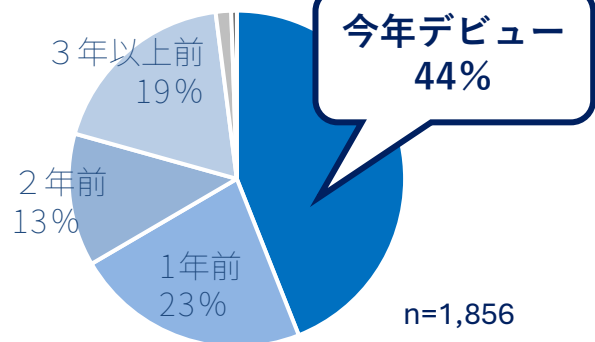
【調査結果サマリー】

- 2025年は「日傘男子」デビューの年
～今夏日傘を利用している人は67%。男性利用も44%～
 - 若者に広がる「日傘男子」～30代以下は2人に1人が利用～
 - 日傘男子1,856名に聞いた日傘利用の本音
～持ち歩きの邪魔にならない（84%）、周囲の目線（95%）が気にならない～
 - 日傘は暑さ対策～日傘を使い始めたきっかけは「暑さ対策（83%）」が1位
 - 来年こそ「日傘デビュー」したい人が約半数以上～軽量・コンパクトが1位に～
- 総括：日傘によって東京の風景が変わった 日傘は「夏の必需品」に
参考：メーカー・バイヤー調査結果

2025年は「日傘男子」デビューの年

～今夏日傘を利用している人は67%。男性利用も44%～

今年の夏、あなたは日傘を使っていますかという質問に対して、全体で67%の人が「使っている」と回答し、男性も44%が利用していると回答しました。
また、日傘を利用している男性の半数近く、44%が、「今年から日傘を利用している」と回答し、東京で歴代最多の猛暑日を記録した2025年は「日傘男子デビュー」の年になったようです。

Q.今年の夏、あなたは日傘を使っていますか。
(単一回答)Q.日傘を使い始めたのはいつ頃からですか？
(単一回答)

調査概要

- 調査名：「日傘利用に関するアンケート調査」
- 調査手法：WEBアンケート
- 対象者：東京アプリの利用者8,353人
- 内訳：男性4,251人、女性4,052人 その他50人
- 調査期間：2025年9月10日～9月23日
- 調査主体：東京都環境局

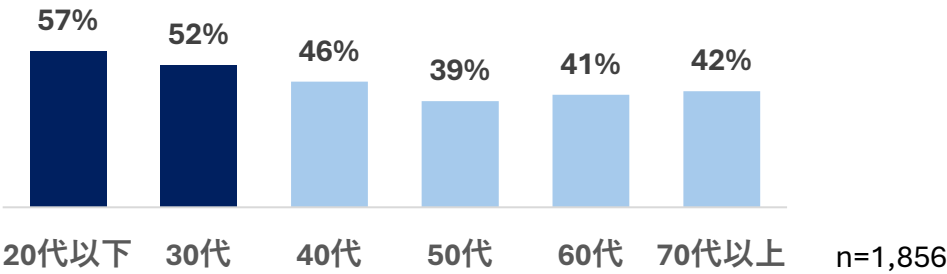
10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代以上
50	278	912	1,692	2,389	2,086	877	69

若者に広がる「日傘男子」～30代以下は2人に1人が利用～

世代別にみると、30代以下は、2人に1人が、今夏日傘を利用したと回答していることが分かりました。
若い世代を中心に、日傘利用が広がっているようです。



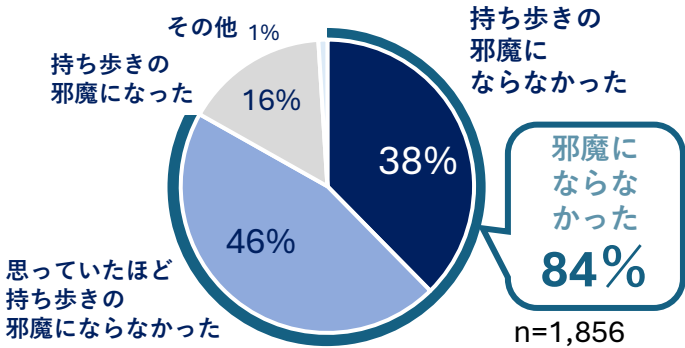
Q. 今年の夏、日傘を使っていますか？



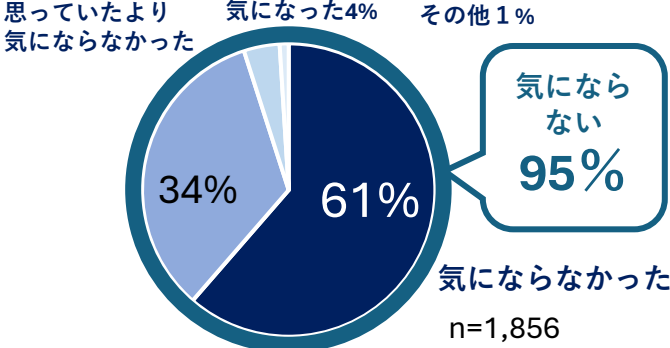
日傘男子1,856名に聞いた日傘利用の本音
～持ち歩きの邪魔にならない（84％）、周囲の目線（95％）が気にならない～

さらに日傘を利用している男性の方に、持ち歩きの邪魔になるか聞いたところ、84％が「持ち歩きの邪魔にならない」と回答しています。また、周囲の視線についても、95％の人が「気にならない」と回答しています。

Q. 持ち歩きの邪魔になると感じましたか？



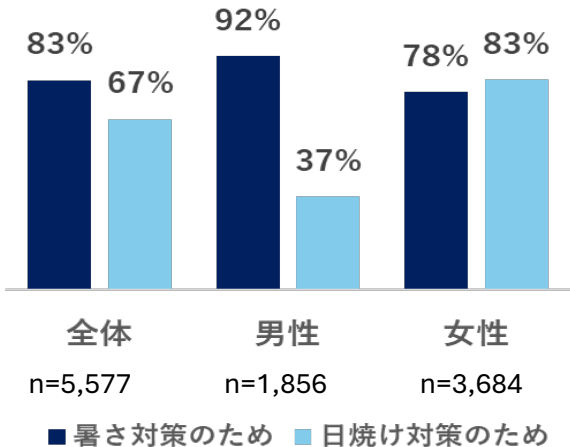
Q. 周りの目が気になりましたか？



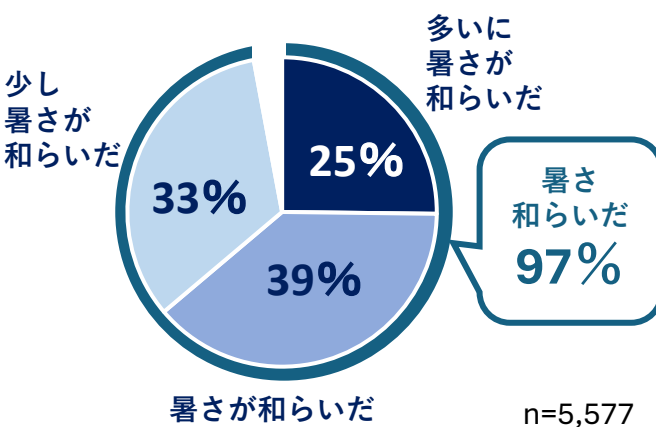
日傘は暑さ対策～日傘を使い始めたきっかけは「暑さ対策（83％）」が1位

また、今夏日傘を利用している方のうち、日傘を使い始めたきっかけとして83％が「暑さ対策」と回答していることが分かりました。特に男性は、「日焼け防止（37％）」を大きく上回り、「暑さ対策（92％）」のために日傘を使い始めたことが分かります。実際に日傘を使った感想として、「暑さが和らいだ」との回答は97％であり、その効果の高さを実感していることが分かります。

Q. 日傘を使い始めたきっかけは何でしたか？
（複数選択可）

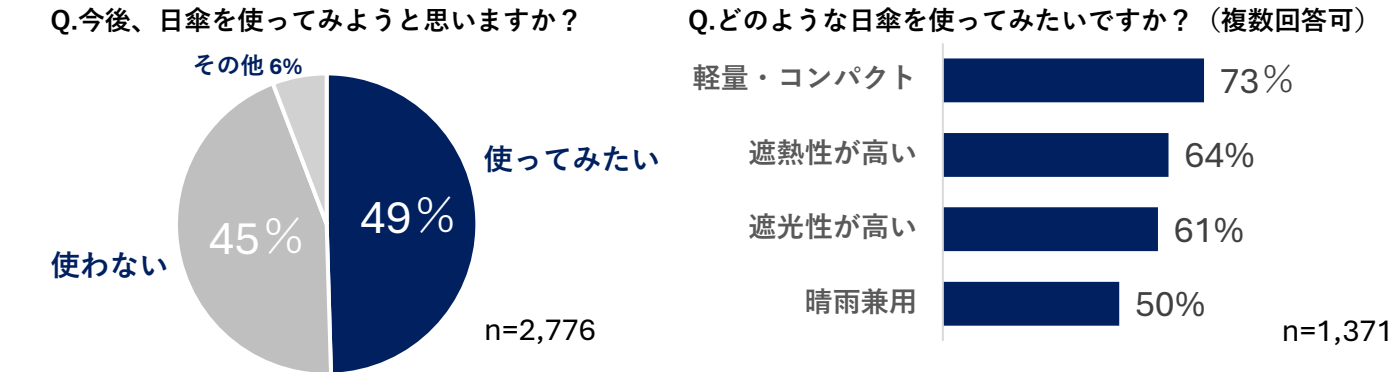


Q. 日傘を使うことで暑さはどう感じましたか？



来年こそ「日傘デビュー」したい人が約半数～軽量・コンパクトが1位に～

一方で、今夏、日傘を使用しなかった方に、今後の使用意向について尋ねたところ、約半数の49%の人が「使いたい」と回答。どのような日傘を使ってみたいか聞いたところ、「軽量・コンパクト」に続き、「遮熱性」や「遮光性」の高さを求める声が多いようです。日傘に「健康・快適」という価値を見出す都民の姿が浮き彫りになりました。



総括：猛暑が東京の夏の風景を変えた！今や日傘は「夏の必需品」に

今夏は最高気温が37.9℃を記録し、暑さは都民の命と健康を脅かす「危機」となっています。新型コロナが人々の働き方を変えたように、近年の危険な暑さが日傘の役割を変えました。かつては日傘は「日焼け対策」のイメージが中心でしたが、今では「暑さ対策」として定着し、夏の「暮らしの必需品」となったのです。また、特に今年大きく変わったのは、男性日傘の普及です。アンケート結果から、今年は男性が日傘デビューされた年だったことが分かりました。

東京都では、「今年の夏も沸とう京 熱中症から命を守る行動を！」をキーワードに、外出時の日傘の活用など、暑さ対策を呼び掛けてきました。より多くの方に日傘の効果を体感していただくため「日傘キャンペーン」を実施し、都内イベント会場等で1000名以上の方に日傘の貸出を実施してきました。暑さ対策を推進していくために、来年以降、更なる日傘の普及啓発を行っていきます。

メーカー・バイヤー調査結果

東京都では、日傘の製作や販売に関わる会社25者にヒアリングを実施、日傘の動向について調査を行いました。その結果、男性用も含めた日傘の販売本数が増加していることや「遮光・遮熱」といった機能性の高い日傘の支持率が高いことをあげていました。来年に向けて、売場面積や、販売期間の延長を検討している、という声もありました。

男性用含め販売本数が増加

Q：男性用日傘の販売本数は増加した？

- ・やや増えた（前年より1割以上増加）（11件）
- ・増えた（前年より5割以上増加）（5件）
- ・大きく増えた（前年より10割以上増加）（4件）

Q：日傘の販売計画は？

- ・男性用日傘の本数や種類を増やした（13件）
- ・販売期間を長くした（13件）
- ・日傘の本数や種類を増やした（12件）

遮光・遮熱の支持率UP

Q：売れ筋の日傘の特徴は？

- ・軽量・コンパクト（20件）
- ・遮熱性が高い（18件）
- ・晴雨兼用（18件）
- ・遮光性が高い（16件）
- ・自動開閉（12件）

本件は、「[2050東京戦略](#)」を推進する取組です。
戦略20 ゼロエミッション「気候変動適応策の強化」

【問合せ先】
環境局気候変動対策部 環境都市づくり課 電話番号 03-5388-3440